



森林や里山の恵みを再認識し、環境保全への意識を高める「ひろしま『山の日』県民の集い」(実行委、中国新聞社など主催)が6日、広島県内10会場で開かれた。

メイン会場の広島県北広島町八幡高原であった開会式で、地元の八幡小6年中村穂乃花さん(11)が「広島 of 里山から山の大切さを理解、行動する輪を広げたい」と宣言。臥龍山ふもとの雑木林で、約160人が県森林インストラクターたちに教わり幹の直径15センチ以下の低木を切

り、取り除いた。

湿原再生事業地の霧ヶ谷湿原では、湿性植物観察会を開催。カキツバタ祭りや初心者向け登山講座もあった。

広島や福山、呉市など9カ所のサテライト会場でも、山の手入れや野鳥観察などの催しがあった。

写真説明】臥龍山ふもとの雑木林で低木や下草を刈る参加者